

渋谷的記憶想器

一経験の再編が作り出す都市の動き

記憶に残る場所とはどんなところなのだろうか？
 何気なく生活する断片化の進む都市空間において
 我々の記憶へと変わる場所は存在しないだろうか
 断片化の進行は、記憶は残る可能性を低減し
 そこで起こるはずの現象を不可視化する

日常の経験から記憶に残る空間を探し
 それらを引用しながら都市の動きを表現することで
 都市の文脈を再読する機会を設けながら
 人々の記憶に残る場を生み出す

00 記憶に残るということ



記憶に残る場所とはどういった場所なのだろうか？
 日常的に経験する様々な空間体験において我々の中に
 記憶として残っていく空間にはどういった共通項が存
 在し、どういったものを覚えていくのか。
 様々なものが存在しそれら主張し合うカオスとも言
 える風景を作り出している渋谷では記憶に残る場所は
 存在しているのだろうか？
 もし、記憶に残る空間の共通項を見出し、人々の記
 憶へ残る空間を作れることは建築に携わる者として名
 誉なことだろうか。

01 断片化の進む都市「渋谷」



SNSの発展で1つの事象は写真1枚で物語るようになった。
 それにより多角的な視点へと分解され、単一な景観形成により没
 所性が生じている。都市空間は断片化の進んでいると考えられる。
 渋谷ではこれが顕著に見られ、「らしさ」は失われているように
 感じる。そこに存在する場所性は薄れ始め、都市の文脈を構成する
 ものがその場所性から建築単体へと変化してきていると考える。
 現在の都市空間ではその都市が持っている「らしさ」(現在の
 動きのあるもの)を見直すことが必要になっているのではないら
 うか？

SITE A 渋谷区桜丘町



「見渡す標」×「受け継ぎ、変様し、符号となる装飾」



敷地は渋谷再開発地域に隣接し、現在は空き地だが今後道路に
 変わることが計画されている。
 再開発は背の高い囲いによりブラックボックス化されているた
 めに視認することが難しくなっている。常に街のどこかで工事が
 行われている渋谷では再開発は1つの動きとして人々に認識され
 ている。
 開発前に立ち並ぶ中低層建築を解体によって出てくる廃材を転
 用しながら再開発を望む見物機を作る。この機は既存解体が始
 まると立ち上がり、開発が終わると姿を消す。この記憶想器は再開
 発の1つの標として存在し、街の変化点都市で起こる動きを感じ
 る場へと変わるだろう。

02 記憶想器を都市に埋め込む



記憶想器とは、人々が抽象化した空間を読み解き、潜在的記憶を想
 起させる建築であり、人々の記憶へと変わりを受け入れる可能性
 を孕んだ器である。
 本提案では人々の記憶へと残る場所を生み出すと同時に都市の持つ
 「らしさ」を文脈化する現在の動きと解釈し都市的に表現することで、
 建築が文脈化している都市に対して都市の文脈を再認識させるよう
 に記憶想器埋め込むことを試みる。
 今後の都市は記憶想器が断片を繋ぐように展開されるパズルよう
 な構造になることを期待する。

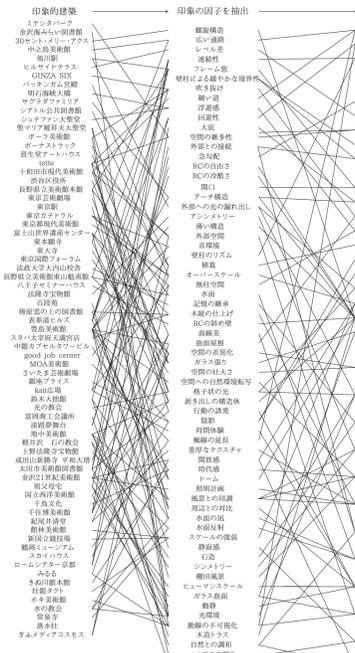
03 記憶に纏わるリサーチ



空間体験に纏わるリサーチを行った結果、人は無意識のう
 ちに空間を抽象化していることを見出した。
 空間全体ではなく、部分的な記憶がそこに存在しているた
 めに、全体性の把握をしていないことが分かる。これらは
 SNS 発展同様空間体験の記憶も断片的なものになってい
 ることを示しているだろう。
 リサーチから抽出された要素は、単体では機能せず、それ
 らがどこにあるかの場所性が重要なトリーガーになってい
 ると考える。

04 心象空間構築要素

著書「記憶に残る場所」(1996)に基づき、
 抽出された因子を主題/構成に分類する。
 その結果、技術の発展により以前では言語
 化できなかったものが存在したために赤文
 字で記す。
 リサーチから31の主題と構成に分類し、それらを心象的
 空間要素と定義し、これらを用いることが記憶へと残るう
 ろ空間を作るために必要な構成要素になる。
 都市の動きを可視化するために場所と結びつけるように心
 象空間構築要素を理念的に引用して記憶に残る空間を作り出
 していく。



印象的建築	印象的因子を抽出	主題/構成	心象空間構築要素
ミッドパルク 3階部分の中間階 3階部分の中間階 3階部分の中間階	縦横線 傾斜線 フレーム 透明性 格子状 空間の多面性 外部との接続 高さの連続性 開口の連続性 外部との接続 開口の連続性 外部との接続	主題/構成 縦横線 傾斜線 フレーム 透明性 格子状 空間の多面性 外部との接続 高さの連続性 開口の連続性 外部との接続	人の身体に纏わるテーマから見えてくる 31の構築要素を体系的に整理し、分類 整理された要素を体系的に整理し、分類 整理された要素を体系的に整理し、分類
ヒルサイドプラザ 4階部分の中間階 4階部分の中間階 4階部分の中間階	縦横線 傾斜線 フレーム 透明性 格子状 空間の多面性 外部との接続 高さの連続性 開口の連続性 外部との接続	主題/構成 縦横線 傾斜線 フレーム 透明性 格子状 空間の多面性 外部との接続 高さの連続性 開口の連続性 外部との接続	人の身体に纏わるテーマから見えてくる 31の構築要素を体系的に整理し、分類 整理された要素を体系的に整理し、分類 整理された要素を体系的に整理し、分類
...

SITE B ヒカリエデッキ

「動機となるイメージ」×「変化するスケール」

SITE C 渋谷109前

「映し出す壁」×「和らげる陰」×「誘う曲線」

